

原子番号	元素記号	元素名	元素と切手について	選ばれた1切手	切手データ (発行国、発行年、説明、 画像縮小率など)
89	Ac	アクチニウム actinium	瀝青ウラン鉱からウランを分離した残留物中の放射性物質から発見。原子番号103番ローレンシウムに至る15個のアクチノイド元素の筆頭。原子核崩壊のウラン-アクチニウム系列は、最初がU235で途中Ac227を通過する。癌治療用α線源としての利用研究が進められている。元素名の由来は光・放射線 (aktinos)。		ロシア(ソ連) 1965 IUPACモスクワ会議 IUPAC= I+U+P+Ac 64%
90	Th	トリウム thorium	スウェーデンの科学者ベルセリウスがノルウェー産のトール石から発見。元素名トリウムはトール（北欧神話の雷神）に因む。後年、マリー・キュリーなどが放射性を有することを発見した。熱電子の放出効率が高いことでアーケー溶接の電極棒に、また耐熱性が優れることで特殊なつぼの材料に利用され、核燃料の原料としても注目される。		スウェーデン 1979 ベルセリウス生誕200年 56%
91	Pa	プロトアクチニウム protactinium	メンデレーエフが「エカタントタル」と名付けてその存在と性質を予測した元素。ウランからアクチニウムに崩壊する途中に存在。「プロト」は「元、はじめ」の意。海底沈殿層の年代測定に利用。1918年頃イギリスのソディと、ドイツのハーンとマイターがそれぞれ発見。ソディーは1921年、ハーンは1944年、共にノーベル化学賞受賞。		スウェーデン 1981 Pa発見者ソディ 67%
92	U	ウラン uranium	1789年にクラプロートがピッチブレンドからウラン（後に二酸化物と判明）を分離し発見した。名前は1781年に発見された天王星Uranusに因む。1938年、ドイツのO.ハーンは、ウラン235に中性子を当てて連鎖核分裂反応を起こし、大エネルギーを発生させる実験に初めて成功。その後世界は原子爆弾開発競争に。原子力燃料の一つ。		ドイツ 1979 O.ハーン核分裂シリーズ 58%
93	Np	ネプツニウム neptunium	1940年、マクミランとアベルソンがウランに中性子を照射して作った最初の超ウラン元素。マクミランは多くの超ウラン元素を発見したシーボルグと共に1951年のノーベル化学賞を受賞。元素ウランの名の由来は天王星Uranusで、その隣の惑星である海王星Neptuneに因んでネプツニウムと命名。用途は原子力燃料のプルトニウムの原料。		アメリカ 1991 惑星探査機ボイジャー2 64%
94	Pu	プルトニウム plutonium	同位体はすべて放射性。1945年、Pu239を原料とする原子爆弾が日本の長崎に投下された。世界恒久平和を願って10年後に爆心地の近くに平和祈念像が建立された。原子炉の燃料にウランとの混合物MOXが用いられる。Pu238は原子力電池に利用される。寿命が長く宇宙探査機に搭載。元素名は冥王星 (Pluto) に因む。		日本 2000 長崎の平和祈念像 53%
95	Am	アメリシウム americium	1944年、米国カリフォルニア大学バークレー校でシーボーグ (1951年ノーベル化学賞受賞) らがプルトニウムに中性子を照射して合成した。元素名アメリシウムは自国アメリカと南北アメリカ大陸に因んで命名された。煙探知器や工業用厚み計の線源。周期表ですぐ上には、ヨーロッパ (大陸) に因んで命名されたユウロピウムがある。		アメリカ 1968 45%
96	Cm	キュリウム curium	1944年、シーボーグらが94番元素プルトニウムにα粒子を照射して得た人工的な合成元素。米国の月面探査機サーベイヤー5号のα線源や原子力電池、その他実験用α線源として利用。キュリー夫妻に因んだ元素名である。		モナコ 2003 60%
97	Bk	バークリウム berkelium	カリフォルニア大学バークレー校で初めて作られた人工的な合成元素。元素名の由来は大学名であるが、その大学名の由来はアイルランドの哲学者で聖職者のG.バークリーである。1868年にオークランドのバークレー地区に創立され、現在は10校よりなるカリフォルニア大学の始まり。		アイルランド 1985 G.バークリー(1685-1753) 49%
98	Cf	カリホルニウム californium	1949年、シーボーグらが96番元素キュリウムにα粒子を照射して合成。命名は合成されたカリフォルニア大学・カリフォルニア州に因む。中性子を放出するので、非破壊検査、地下資源探査分析や、研究に使用。原子炉の始動時の中性子源としても使用。切手はカリフォルニア州発祥の地Carmel-Mission-Belfry (カーメル教会の鐘楼)。		アメリカ 1969 カリフォルニア州200年 46%
99	Es	AINSTAIINIUM einsteinium	1952年の最初の水爆実験 (アイビー作戦) の灰の中から発見された元素。当時水爆は軍事機密として扱われていたため、1954年に原子炉内で生成したとの発表が第一報とされた。元素名はアインシュタインにちなんで名付けられた。アインシュタインは1939年、ルーズベルト大統領に原爆開発を進言したが、晩年は核兵器廃絶を唱えた。		ベルギー 2001 45%